



西会津小・中・高生が各校で集めた赤い羽根共同募金を町へ引き渡しました。10月21日には西高、11月4日に西小、同20日に西中から代表の児童生徒がそれぞれ町長室を訪れ、町共同募金委員会である薄町長へ募金箱を手渡しました。

児童生徒は登校時に昇降口に立ったり、校舎内を回るなどして募金活動を行いました。薄町長は「皆さんの大事なお小遣いから集めた募金は、町内の福祉活動事業で有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



▲ 左から清野亜依莉さん、菊地楓花さん、武藤真結さん、小久保美里教諭（西会津高校）

「やさしさの エールを贈ろう 赤い羽根」 赤い羽根共同募金を引き渡し



▲ 左から築田まりなさん、皆川暖さん、伊藤心音さん、長谷川瑞希さん、博多弘泰校長（西会津小学校）



▲ 左から折笠遥南さん、伊藤詩野さん、鈴木正人さん、岩倉沙英子さん、佐瀬大地教諭（西会津中学校）

県内の地域おこし協力隊がブースを出展 地域の担い手文化彩

福島県内の地域おこし協力隊の活動を見て、体験して、触れるイベント「地域の担い手文化彩」が、11月14日に西会津国際芸術村で開催されました。イベントでは、各市町村ごとにブースが設けられ、地域産品を活用した商品の販売や伝統工芸品の展示、隊員の活動や活動地域の紹介などが行われました。

また、同会場では「福島ものづくりの未来展ー地域おこし協力隊の活動からー」と題し、隊員の皆さんが活動の中で手掛けた張り子、編み組み細工、焼き物、木工などの作品の展示も行われました。



ICTに慣れ親しむ 初めての人のためのタブレット講習会

11月16日、17日の2日間、2回に分けて「初めての人のためのタブレット講習会」が町役場で行われ、合計28人が参加しました。

講習会では江添信城教育長を講師に、タブレットの基本的な操作について講習を受けました。受講生は、初めてのタブレットの操作に悪戦苦闘しながら、写真を撮ったり、QRコードを読み取って動画を見たりしていました。受講生の中には、タブレットに関心を持った人も多く、次回のステップアップの講習会を希望する声もありました。



西会津のそば打ち名人が腕を振るう さゆりオートパークで新そば祭り

11月28日、29日にさゆりオートパーク管理棟で新そば祭りが開催されました。例年、各地区で開催されているそば祭りの中止が相次ぐ中、ロータスイン主催で行われたこの新そば祭りは、前売りチケット制や時間指定、持ち帰りなどの新型コロナウイルス感染症対策をとった上で行われました。

関係者によると、今年はそばの収穫量が多い上に品質も高く、大豊作の年だったということです。



※写真は28日に開催された模様。

大山さゆり太鼓体験や芸術村のアーティストとのコラボも 西高でミニ文化祭

11月5日、6日の2日間、西会津高校でミニ文化祭が開催されました。冒頭に大山さゆり太鼓の皆さんの演奏を鑑賞した後、生徒が実際に太鼓をたたいて演奏体験をしました。クラスごとのステージ発表の場面では、西会津国際芸術村のアーティストの皆さんが飛び入り参加し、生徒を喜ばせました。期間中はスポーツ大会も行われ、生徒らはバドミントンやバレーボールで汗を流しました。



▲ 大山さゆり太鼓を体験する生徒（写真提供：西会津高校）